



AJPPRESS

ASIA JOINT-DEGREE PROJECT

2014.AUTUMN

Vol.08

Asia Education Leader Courseを創設

東北大学大学院教育学研究科アジア共同学位開発プロジェクト(以下、AJP)では、国際的視野をもった国際的教育指導者を育成すべく、2014年度よりアジア教育指導者養成コース(Asia Education Leader Course: AEL Course)を創設し、学生募集を行ないました。同コースは、東北大学大学院教育学研究科をはじめ、国立政治大学教育学院(台湾)、国立台湾師範大学教育学院(台湾)、南京師範大学教育科学学院・心理学院(中国)、高麗大学校師範大学(韓国)の5大学6部局が共同運営するものです。各大学・部局は、夏季及び冬季の長期休業期間に開催される集中セミナーを順番で担当し、各大学からの参加学生は、アジア諸国で開催される集中セミナーにそれぞれの国から参加します。

これまでAJPでは、短期集中セミナーを開催してきましたが、さらに系統的な学びを提供すべく、これまで培ってきたノウハウを生かしながらAEL Courseの創設へと準備をしてきました。

AEL Courseで提供される科目は、これまでAJPが提唱してきた“KASP”領域から構成されています。すなわち、①教育に関する高度な専門的な知識(Knowledge)、②東アジアに対する理解と共感的態度(Attitude)、③教育研究技

法と東アジアの言語の習得(Skill)、④世界に開かれた人的ネットワークの形成と情報発信(Practice)です。下記の表にあるように、連携大学ではこれらのクラスターに合うよう、各大学独自性を持った科目が提供されています。

参加学生は、この“KASP”からそれぞれ1科目以上、合計12単位以上の履修が求められており、特にPracticeクラスターでは、2か国以上において履修することが定められています。したがって、学生は最低2か国以上訪問することになります。そこでは、自国の学生のみならずアジア諸国の学生とともに学ぶこととなります。上記条件をクリアした学生には、AEL Course Certificateが授与されます。本ニュースレターの中間にあるとおり、2014年度AELサマーコースは、東北大学を会場に行なわれました(各大学から5名が上限枠)。

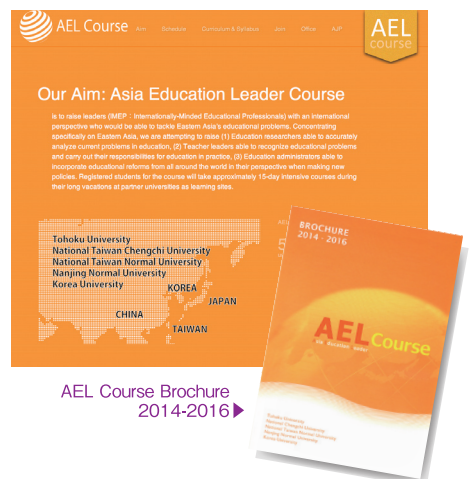
AEL Courseでは、単にカリキュラムに定められた教育内容だけではなく、ともに学び合う環境をデザインすることで、自国の文化に根差した、なおかつ他国や他の地域の文化を尊重する態度と国際的教育指導者に必要とされる専門性を養うことを実現しようとしています。

AJPではこれをInternationally-Minded

Educational Professionals (IMEP)として提唱しています。

もちろん、国境を越えての連携は容易ではなく、成績の評価基準や単位互換、学生の移動に伴う経費や滞在中の安全など検討し続ける点は山積しています。しかし、机上での議論ではなく、実践する中でこれらの解決を探っていくこともまた重要です。今後も実践と省察を繰り返しながら、模索していきたいと思えます。プロシユア、募集要項、シラバスについては、AEL Course Webサイトをご覧ください。

www.sed.tohoku.ac.jp/~ajp/aelc/top.html



AEL Courseカリキュラム

	Cluster	Subject (2 or 3 Credits)	Japan Tohoku Uni.	Taiwan Chengchi Uni/ Taiwan Normal Uni.	China NanJing Uni	Korea Korea Uni.
Choose one course from each cluster. 8 Credits	K "Knowledge" High Professional Knowledge	① Contemporary Education Issues in Asia	●			
		② Educational Policy in Asia		●		
		③ Values and Innovation in China's Educational Policies			●	
		④ TEchnology-Enhanced Classroom Environments				●
	A "Attitude" Empathic Attitude toward Asia	① Global Citizenship	●			
		② Right to Education		●		
		③ Moral Education of Children in China			●	
		④ Comparative Study of Education				●
	S "Skill" Research Skills	① Data Analysis for Educational Research	●			
		② Field Study		●		
		③ Advanced Data Analysis (3 credits)			●	
		④ Case Management and Conceptualization				●
Choose two course from cluster P. 4 Credits	P "Practice" Experience in the Field	① Research Study I (Japan): Supports to Japanese Children and Youth	●			
		② Research Study II (Taiwan):		●		
		③ Research Study III (China): Children and Schools in China			●	
		④ Research Study IV (Korea): Quantitative Methods in Educational Research				●

アジア共同学位開発プロジェクト AELサマーコースを開催



東北大学大学院教育学研究科では、「アジア共同学位開発プロジェクト」の一環として、同事業の、AELサマーコースを7月19日から7月29日までの11日間にわたり東北大学文系総合研究棟を会場に開催しました。

今年度のサマーコースには、東北大学の大学院生をはじめ、中国、台湾、韓国から18名の学生が参加しました。学生は英語で開講された Contemporary Education Issues in Asia, Global Citizenship, Data Analysis for Educational Research, Support for Japanese Children and Youthなどの科目を受講しました。それぞれの国の教育が抱える問題と最新の改革動向などについてグループディスカッションを通し活発な議論が行なわれました。

このAELサマーコースは、2014年度より東北大学をはじめとする東アジア諸国の連携大学と東アジアの教育課題に対応できる国際的視野をもった指導的人材の養成を目的に共同で創設された「Asia Education Leader Course (AEL Course)」の一環として行なわれたものです。AEL Courseでは、最低2か国以上を訪問し、Knowledge, Attitude, Skill, Practiceの領域に分けられた科目から最低12単位以上取得した学生に修了証が授与されます。各AELサマー／ウィンターコースでは、このKAS/Pの各領域から1科目ずつ開講され、学生はこのうち3科目を履修します。

コース初日である7月19日には開講式とオリエンテーションが行なわれました。開講式では、上笠高志副研究科長による歓迎のあいさつがあり、サマーコースに参加する学生の自己紹介が行なわれました。オリエンテーションでは、谷口和也准教授より、AEL Courseの説明と東北大学の紹介、さらに学生がサマーコース開催中に日本で生活する際の留意点について説明が行なわれました。

小川佳万教授とProf. Jung-Cheng Robin Chen (国立政治大学)が担当した Contemporary Education Issues in Asia (K科目)では、比較教育学の視点からアジア諸国における教育制度の多様性を意識させ、オルタナティブスクール、グローバリゼーションとカリキュラム、各国で進められる教育改革など多岐にわたるテーマを取り上げました。各国から集った学生は、その国の学生から事例を聞き、自国の事例と比べながら、その差や類似性に改めて気づかされると共に、グローバルな視野を獲得していました。

本コースでは、K科目とP科目は参加者共通とし、その他のA科目(Global Citizenship)とS科目(Data Analysis for Educational Research)は、どちらかを選択するよう日程を組みました。

Global Citizenshipを履修した学生は、谷口和也准教授と陳思聰助教が担当した講義

に参加し、東アジアにおけるシティズンシップについて議論を交わしました。この授業では、授業内でObservation Tripを取り入れており、参加学生と仙台白百合学園中学・高等学校を訪問しました。日本の中等教育の現場を見学したことで、授業内での議論もよりリアリティをもって展開できたようです。

三輪哲准教授が担当したData Analysis for Educational Researchに参加した学生は、計量社会学のデータ解析手法について、理論的基礎とともに、実際に統計ソフトを用いながら実践的に学びました。分析した結果については授業内でプレゼンテーションし、参加学生同士のディスカッションを通し、考察を深めていました。



P科目であるResearch Studyでは Supports to Japanese Children and Youth と題し、日本の教育現場や国際交流現場において学ぶフィールド型学習を展開しました。青少年の教育支援施設のフィールドワークに参加した学生は、社会福祉法人わたげ福祉会、仙台市児童相談所、宮城県立精神医療センター、東北福祉大学せんだいホスピタルなどの施設を訪問し、運営状況や教育内容について多数の質問を寄せ、日本の先進的な取り組みを熱心に学ぶと同時に、国境を超えて存在する課題の共通性を発見していました。

Miyagi International Association (MIA) と Sendai International Relation Association (SIRA) のインターンに参加した学生は、宮城県や仙台市が取り組む国際交流や国際理解教育の現場を肌で感じ、イベントのサポート等を行ないながら、日本の国際交流プログラムや外国人支援の有り方に多くを学んでいました。これらの体験プログラムは、参加学生たちの授業評価アンケートにおいても評価が高かったです。

学生たちは、東北大学(日本)をかきわり、今後、国立政治大学(台湾)、南京師範大学(中国)、高麗大学(韓国)をめぐるなか、視野を広げ、国際感覚を養います。今回参加した学生たちは、2015年1月に国立政治大学で開催されるAELウィンターコースなどへの参加を通し、AEL修了証の獲得を目指します。

Schedule of Summer Course 2014

Graduate School of Education, Tohoku University
July 19th (Sat) – 29th (Tue), 2014

19th (Sat)	08:30 ↓	Opening Ceremony & Orientation (chaired by Assoc. Prof. Taniguchi, Deputy Director of Asia Joint-Degree Project)	Large Meeting Room (11F)
19th (Sat) ↓ 21st (Mon)	08:50 ↓ 17:50	K: Contemporary Education Issues in Asia Principal instructor: Prof. Ogawa Other instructors: Assoc. Prof. Jung-Cheng Robin Chen (National Chengchi University, Taiwan), Asst. Prof. Sicong Chen	306
22nd (Tue) ↓ 24th (Thu)	08:50 ↓ 17:50	A: Global Citizenship Principal instructor: Assoc. Prof. Taniguchi Other instructor: Asst. Prof. Sicong Chen Observation Trip	306
22nd (Tue) ↓ 24th (Thu)	08:50 ↓ 17:50	S: Data Analysis for Educational Research Principal instructor: Assoc. Prof. Miwa	204
25th (Fri) ↓ 29th (Tue)	08:50 ↓ 17:50	P: Research Study I: Supports for Japanese Children and Youth Principal instructor: Assoc. Prof. Ambo, Other instructors: Prof. Ueno, Assoc. Prof. Wakashima, Asst. Prof. Park, Asst. Prof. Tanaka	Intern at SIRA Intern at MIA Field Trip Presentation (306)
29th (Tue)	12:00 ↓ 15:00	Closing Ceremony and Closing Party (Remarks by Prof. Hongo, Dean of Graduate School of Education, Tohoku University)	Large Meeting Room (11F)

Event (K)nowledge (A)ttitude (S)kill (P)ractice Free time

AEL Course参加記

AEL Courseを担当して

One of the challenges of giving lectures to participants coming from different societies and academic backgrounds and joining together only for a less-than-two-week period was how to work out in a short time a common knowledge and understanding ground for deep engagement and discussion. But gratefully the participants' open-minded and active attitude helped significantly overcome the challenge. It was a pleasant and productive experience of sharing ideas with the participants and learning something new from them in Summer Course 2014 of AEL Course.

Dr Sicong Chen, Tohoku University

Being a guest lecturer for 2014 AEL summer course in Sendai was one of my best memories in life. My gratitude, firstly, goes to Dean Hongo for his excellent academic and administration leadership showing me the way of Japanese conscientiousness. As a facilitator of this innovative program, Prof. Ogawa arranged each detail incredibly seamless, which I highly appreciate. Thanks to Prof. Ueno, Prof. Ambo, Prof. Taniguchi, Prof. Tanaka, Dr. Park, Dr. Chen, Ms. Park, Ms. Kuroda for their touched hospitality that I shall cherish it all the time. I also could feel the connection and friendship among the participant universities and students are growing via this program. Having a chance teaching in Tohoku University with foregoing splendid components, 2014 AELC summer course was an academic feast to me. Best regards.

Professor Robin J. Chen, National Cheng-Chi University

AEL Courseに参加して

The first time when I got to know about the AEL course, where the students from different Asian countries were designed to exchange their ideas and points of view, I was very intrigued and became eager to participate in it. The 10 days of the course passed very quickly and smoothly with efforts of the organizing committee of Tohoku University. The widened vision I obtained during the course would benefit immensely throughout my academic life. If somebody is wondering whether they should join the program, I highly recommend it.

Master Course, Hyunok Ryu, Korea University



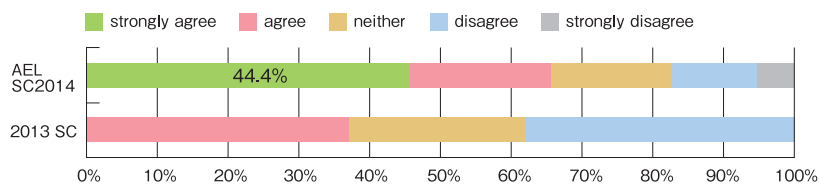


AELサマーコース2014 参加学生アンケートの結果

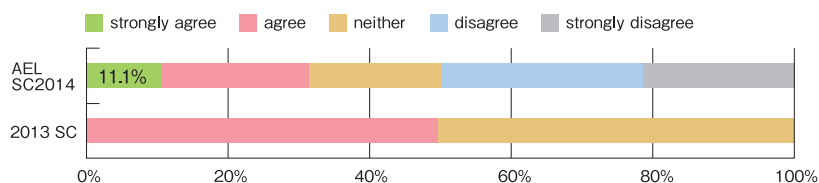
東北大学大学院教育学研究科アジア共同学位開発プロジェクトでは、AEL SC(サマーコース)2014参加学生を対象に授業評価アンケート及びコース全体に関するアンケートを実施しました。アンケートは、5件法による段階評定及び自由記述によって構成されています。

授業評価アンケートについてはおおむね高い評価を得ました。一方これまで行ってきた集中セミナーのアンケート結果と同様に、AELサマーコースのスケジュールに関する項目、施設および学校訪問の意義に関する項目への回答について特徴がみられました。以下ではそれらを中心に紹介します。

◆講義時間数 (1日当たり450分)は 適当であると 考えますか? AEL SC2014(N=18)



◆1日の講義数 (1日/5講義)は 適当であると 考えますか?



◆AEL集中コースの適当な 開催期間は何日間ですか?

10日間以下/4名 10日間/3名
10~15日間/6名 無記入/5名

◆フィールドワーク科目について(自由記述)

<効果的でしたか>

- It's really meaningful for me to understand welfare facilities in Japan. We should learn a lot from Japan.
- I want to talk to the staff or students (patients) to have enough knowledge. And we can stay for a while (more than 1 hours), not just look ppt only.
- I like the internship. But it should be more organized.
- It really expanded my horizon.

<その他訪問したい場所がありますか>

- The ministry of education or local educational authority.
- Elementary school.
- Traditional culture of education in Japan.
- Join school activities or classes.

これまでと同様に、全体アンケートでは、スケジュールの過密さが指摘されました。各国の学事日程のズレや滞在にかかるコストとのバランスを考慮すると、どうしても過密にならざるを得ませんが、規定の授業時数を確保しつつも、1コマ90分という枠にとらわれず、柔軟に対応すること

も提案できたらと思います。

また、初めての試みであったインターンシッププログラムも高い評価を得ましたが、学内のみならず学外と連携をさらに高めていく必要も指摘されました。



AJP ASIA
JOINT-DEGREE
PROJECT

www.sed.tohoku.ac.jp/~ajp/

東北大学 大学院教育学研究科 アジア共同学位開発プロジェクト事務室
TEL:022-795-3756 E-mail:ajp@sed.tohoku.ac.jp